

高知県中山間地域再興ビジョン Ver.3 (概要版 (案))

高知県中山間地域再興ビジョン（概要）〈令和6年3月策定〉

1 策定の趣旨

- 県土の約9割を占め、県民の約4割が暮らす本県の中山間地域は、基幹産業である「農林水産業」をはじめ、「豊かな自然」や「文化」など、**本県の強みの源泉**となっている。
一方、県内でも先行して人口減少や少子高齢化が進み、その環境は年々厳しさを増している。
- 令和3年度に県が実施した「**集落実態調査**」の結果からは、**地域や産業の担い手不足がより深刻化し、住民の方々が将来に不安を抱いている**、といった現状を改めて確認。
- 若年世代の流出や婚姻数、出生数の減少も顕著であり、**人口減少がさらなる若者の流出や人口減少につながるという負の連鎖が加速している**。
- こうした中、地域を次の世代に引き継いでいくために、**住民の皆さんとともに未来を切り開いていくための道しるべ**として、令和6年3月に「**高知県中山間地域再興ビジョン**」を策定。

〈中山間地域の定義〉

地域振興5法（※）の対象地域、全34市町村が該当（27市町村（全域）、7市町村（一部））

- ※ ① 過疎地域持続的発展支援特別措置法 ② 特定農山村法
③ 山村振興法 ④ 半島振興法 ⑤ 離島振興法

面積 (km ²)		
県全体	中山間地域	割合
7,104	6,627	93.3%

人口 (人)		
県全体	中山間地域	割合
691,527	264,046	38.0%

令和3年度集落実態調査より作成



〈人口減少の負の連鎖が加速する中山間地域〉

若者世代、特に女性の人口流出

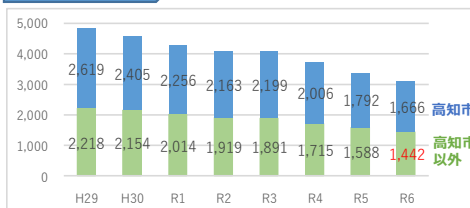
単位：人、%

	高知市			高知市以外		
	R2人口 (15-34歳)	増減 (H22比)	減少率	R2人口 (15-34歳)	増減 (H22比)	減少率
男性	27,829	▲6,941	▲20.0	27,355	▲9,407	▲25.6
女性	28,972	▲8,666	▲23.0	23,654	▲9,219	▲28.0
男女計	56,801	▲15,607	▲21.6	51,009	▲18,626	▲26.7

参考：総務省「国勢調査」

出生数の減少

単位：人



出典：厚生労働省「人口動態統計」

令和3年度 高知県集落実態調査の結果

問 集落代表者から見た集落の課題：集落で困っていること（課題や悩み）

- 「人口減少」：68.8% 「地域に若者がいない」：55.2% 「集落活動の担い手不足」：45.5%
「集落長のなり手（リザーブ）がない」：35.4%

2 ビジョンの基本的な考え方

- 中山間地域の再興なくして県勢浮揚はなし得ない。この考えのもと、**県と市町村が連携し、中山間地域の若者と子どもの人口のこれ以上の減少を食い止め、増加に転じさせることで、人口の若返りを図り、持続可能な人口構造へと転換することが何よりも重要**。
- このため、**ビジョンの目指す姿の中心に「若者の人口増加」を掲げ、少子化対策と一体となった新たな中山間対策を推進する**。

3 計画期間

令和6年度～令和9年度の4年間

4 ビジョンの位置づけ

本県の人口減少対策のマスタープランとなる「元気な未来創造戦略」の関連計画として位置づけ

高知県元気な未来創造戦略

〈戦略の目指す姿〉

「将来を担う若者が、地域地域で魅力のある仕事に就き、いきいきと住み続けられる元気な高知県」

政策1
魅力ある仕事をつくり、
若者の定着につなげる

政策2
結婚の希望をかなえる

政策3
子どもを産み、育てたい
希望を叶える

関連計画

高知県産業振興計画 **高知県中山間地域再興ビジョン** 日本一の健康長寿県構想 等

5 推進体制

知事をトップに関係部局で構成する庁内組織「**中山間総合対策本部**」及び、地域づくり活動の実践者や学識経験者、大学生等で構成する「**中山間地域再興ビジョン推進委員会**」において、PDCA サイクルにより取組状況を点検・検証し、必要な対策の追加や見直しを行い、**毎年度、ビジョンの改定を行う**。

6 ビジョンの目指す姿

10年後(R15)に目指す将来像

地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、デジタル技術の活用などにより、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、誰もが将来に希望を持って暮らし続けることができる、活力ある中山間地域

10年後(R15)目標

- ①若者のうち、減少、流出の著しい**34歳以下の人口**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す。
- ②**出生数**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す。

ビジョンでは、分野別の4つの柱のもとに、**131のアクションプラン**を設定。テーマごとに、10年後に達成するべき姿と数値目標を掲げて取り組みを推進。

柱1 若者を増やす

柱2 暮らしを支える

柱3 活力を生む

柱4 しごとを生み出す

中山間地域再興ビジョン（令和8年度）のバージョンアップのポイント

R15 目標①

若者のうち、減少、流出の著しい34歳以下の人口について、中山間地域のすべての市町村で令和4年よりも増加を目指す

若者人口(34歳以下)の推移 ※各年10/1時点、日本人+外国人
【 】はR4比、() は前年比で増加した市町村数

	R4 (出発点)	R6	R7
県全体	178,937	170,045 【0】(1)	165,459 【1】(3)
高知市	94,157	89,703	87,593
高知市以外	84,780	80,342	77,866

R15 目標②

出生数について、中山間地域のすべての市町村で令和4年よりも増加を目指す

出生数の推移 ※暦年(1~12月集計)、日本人のみ
【 】はR4比、() は前年比で増加した市町村数

	R4 (出発点)	R6	R7
県全体	3,714	3,123 【4】(8)	3,072 【7】(12)
高知市	2,006	1,672	1,706
高知市以外	1,708	1,451	1,366

若者人口の社会増減 ※各年10/1時点(10~9月集計)、日本人+外国人
【 】は社会増の市町村数

	R4 (出発点)	R6	R7
県全体	▲1,194	▲2,017 【7】	▲2,294 【5】
高知市	▲611	▲1,151	▲1,050
高知市以外	▲583	▲866	▲1,244

出典：統計分析課「高知県推計人口」

《現状》

若者人口及び出生数の減少に歯止めがかかっていない状況
⇒大都市部との人材獲得競争の激化を背景とする社会減の拡大
⇒若年女性の県外転出と婚姻数の減少を背景とする出生数の減少

《バージョンアップのポイント》

- ◆県と市町村が一体となった人口減少対策の推進や県外への転出抑制に向けた取組の強化【柱1】
- ◆若者・女性にとって魅力ある仕事の創出や所得の向上に向けた取組の展開【柱1・4】
- ◆地域で誰もが安心して暮らし続けることができる環境の整備に向けた取組の推進【柱2】
- ◆にぎやかな過疎を実現するため、関係人口創出の取組を強化【柱3】

主要な強化策

柱1 若者を増やす

※若者の所得向上に向けた取り組みは「柱4」に記載

- 市町村が「人口減少対策総合交付金」を活用して実施する人口減少対策の実効性を高めるための取り組みを強化
→【拡】交付金事業のバージョンアップの具体化に向けて、市町村に対する伴走支援や専門アドバイザー派遣を実施
- 地域の担い手となる若者の定着を促進するため、UIターン希望者に対する転職支援に加え、転職による県外転出を抑制するための取り組みを強化
→【拡】民間の職業紹介企業と連携した情報発信や、「高知求人ネット」の機能拡充
→【新】転職を検討中の若者に向けた県内企業情報の発信や、県内転職支援拠点の設置
- 中山間地域等の県立高等学校のさらなる魅力化・特色化の推進
→【拡】県外からの生徒募集を推進するため、デジタルマーケティングを活用した広報を拡大

柱2 暮らしを支える

- 公共交通の維持・確保に向けて、複数市町村が連携して実施する広域的な取り組みに対する支援を強化
→【拡】新たな移動手段の導入や運行の効率化に向けた市町村営交通の共同運行などに対する支援を実施
- 地域における医療・福祉・介護サービス提供体制を確保するため、医療提供体制の確保やデジタル技術を活用した取り組みを推進
→【新】中山間地域等における診療所の承継や開業に必要な経費を支援
→【新】中山間地域でのオンライン服薬指導のモデル事業を実施

柱3 活力を生む

- 関係人口のさらなる創出を図るため、地域外の若者と集落活動をつなぐ仕組みを拡充し、中山間地域と都市部との多様な交流を促進
→【拡】関係人口創出プロジェクト「いこうち！」の受入団体の拡充やプログラムの充実、ポータルサイトの構築
- 集落活動センターの新規立ち上げに加え、既存センターの活動継続に向けた取り組みを強化
→【拡】集落活動センターの活動の継続・発展に向けたテーマ別勉強会の開催や伴走支援の取り組みを強化

柱4 しごとを生み出す

- 「若者に選ばれる高知県」を実現するため、事業者の経営力や生産性の向上による賃上げ環境の促進に向けた支援を抜本強化
→【新】若者の所得向上につながる高付加価値型経営への転換を目指す県内事業者に対する支援を実施
- 地域の一次産業の新たな担い手となる若者・女性の新規就業に向けた取り組みの強化
→【拡】中山間地域における農業の担い手を確保するため、経営規模が零細で国支援策の要件を満たさない新規就農者への支援制度を創設
→【拡】若者や女性が就業しやすい漁業への転換を目指し、女性を主体とした操業モデルの事業化に向けた支援を実施

中山間地域再興ビジョン 10年後の将来ビジョン

目指す将来像

地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、デジタル技術の活用などにより、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、誰もが将来に希望を持って暮らし続けることができる、活力ある中山間地域

＜数値目標(10年後)＞
「目指す将来像」の実現のために
目指すべき重要な目標

- ①若者のうち、減少、流出の著しい**34歳以下の人口**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す
②**出生数**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す

柱1 若者を増やす

第1策 若者の定着・増加とづくり

県外からの移住や地元での定住により若者、特に女性が増加し、産業や地域活動等の担い手として活躍している。多くの子ども達が、地元で学びながら地域と関わり、郷土への誇りと愛着が生まれている。



〈数値目標(10年後)〉

- 県外からの年間移住者数(※)：5,000人以上 (R4：1,185組1,730人)
- 地元高校への進学率：50% (R5年度入学31.3%)
- 県内就職率(※)：高校生75%、専門学校生80%、県内大学生42%、県外大学生28%
〔R5.3卒業実績：高校生71.6%、専門学校生72.8%、県内大学生36.0%、県外大学生21.3%〕
- すべての市町村で20～34歳の年齢層における女性の割合がR2全国平均(49%)を上回る
- 婚姻件数の増加 (R4：972組)

柱2 暮らしを支える

第2策 生活環境づくり

生活用水や生活用品、移動手段等、暮らし続けるために必要となる生活環境が維持されている。



〈数値目標(10年後)〉

- 居住地における買い物手段の確保 100%
- 居住地における移動手段の確保 100%
- 居住地における医療の提供 100%
- 居住地における在宅介護サービスの提供 100%

第3策 安全・安心の確保

地域での見守り機能が維持されるとともに、地理的条件が不利な地域においても、医療・福祉サービスへのアクセスが確保されている。また、地域の防災力が高まっている。



柱3 活力を生む

第4策 集落の活性化

集落活動センターや「小さな集落」等、住民主体の組織が中心となり、多様な人材が交流しながら集落の活性化に向けた取り組みが行われている。



〈数値目標(10年後)〉

- 集落活動センター開設数：95カ所 (R5.6月末時点 66カ所)
- 活動を継続している無形民俗文化財(国・県・市町村指定)の数：120件 (R4年度：95件)
- 世界無形文化遺産の登録数：11件(風流踊、神楽) (R4末：0件)

第5策 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用

地域の伝統的な祭りや民俗芸能が継続して催され、地域が賑わい、次世代へ引き継がれている。



柱4 しごとを生み出す

第6策 魅力ある仕事の創出 (地域の基幹産業の魅力向上)

農林水産業など地域の基幹産業において、高付加価値型経営への転換が図られ、若者が担い手として活躍している。



〈数値目標(10年後)〉

- **新** 1人あたり県民所得：全国中位(20位台)
- 就業人口(15～64歳)の増加 (R2：129,591人)
- 女性就業者数(15～34歳)の増加 (R2：12,848人)
- 起業件数の増加 (R2：262件※) ※起業を含む開設事業所数

第7策 魅力ある仕事の創出 (起業等による新たな雇用の場の確保)

移住者や地域の若者等の起業や継業により、地域の魅力や活力が高まっている。また、若者から人気が高いIT・コンテンツ企業等の立地や、都市部から移住しリモートワークをする若者が増えている。



第8策 デジタル技術の活用

中山間地域のニーズに合った通信環境が整備され、日常生活の不便さや担い手不足等、中山間地域の様々な課題を解決するためにデジタル技術の活用が進んでいる。



〈数値目標(10年後)〉

- 居住地等におけるブロードバンド整備率：100% (R4末：99.13%)

※下線は、今回追加・見直しを行ったもの

テーマごとの10年後の姿と数値目標

中山間地域再興ビジョンに基づく中山間対策の施策体系

R7 : 399億円

→ R8 : 417億円 (見積時点)

※朱書きは、今回追加・見直しを行ったもの

主な4年後(R9年度)のKPI
()内はR4年度実績

全131のアクションプラン (うち主要なアクションプラン : 69) により、少子化対策と一体となった中山間対策を進める。

柱1 若者を増やす

第1策

若者の
定着・増加
と人づくり

1 移住・定住の促進

- 拡 若者や女性をターゲットとしたUターン・Iターンの促進
○ 空き家の掘り起こし
【 放置空き家解決数:1,310件(-)
移住者の空き家バンク成約件数:150件(-) 】
- 拡 地域おこし協力隊の確保・育成
【 地域おこし協力隊隊員数:570人(230人)
直近5年間に任期終了した地域おこし協力隊隊員の定住率:75%(72%) 】
- 特定地域づくり事業協同組合の設立の促進
- 新 若者の転出抑制に向けた転職支援
【 県内転職支援拠点を通じた就職者数:R8-9累計160人(-) 】

2 新規学卒者等の県内就職の促進

- 拡 県内就職に関する情報発信と県内企業の採用力向上の支援
【 県内大学生の県内就職率:42.0%(36.0%)
県内出身・県外大学生のUターン就職率:24.0%(21.3%) 】
- 新 県内高等教育機関の魅力の発信
【 合同説明会への参加者数:500人(-) 】
- 拡 地域への理解と愛着を育むキャリア教育の推進

3 女性活躍の環境づくりの推進

- 働きやすい職場づくりの推進
- 拡 建設業における女性活躍の支援
- 拡 農林水産業における女性や若者をターゲットにした担い手の育成・確保
- 拡 女性デジタル人材の育成支援

4 出会い・結婚・出産・子育てへの支援

- 拡 多様な交流機会の拡充と結婚支援
【 県マッチング事業での成婚数:R6-9累計160組(24組) 】
- 拡 理想の出生数を叶える施策の強化
○ 住民参加型の子育て支援
- 5 「共働き・子育て」の推進
- 拡 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた社会全体の意識改革
【 県内企業における男性の育児休業取得率:64.0%(R6(速報値):35.0%) 】

6 中山間地域の教育の振興

- 拡 中山間地域における高等学校の魅力化促進
【 地域みらい留学等を活用し、県外から県立高等学校へ入学した生徒数:80名(22名) 】
- 遠隔教育の推進

7 文化芸術とスポーツの振興

- 拡 「よさこい高知文化祭2026」の開催
- 地域に根ざした住民主体のスポーツ活動の推進

市町村との連携協調による人口減少対策の推進 ~「人口減少対策総合交付金」の活用により市町村の取組を強力にバックアップ~

柱2 暮らしを支える

第2策 生活環境づくり

- 生活用水や生活用品を確保するための環境整備
○ 生活用水の確保に向けた環境整備
- 拡 生活用品を確保するための環境づくり
- 2 地域交通の維持・確保
- 拡 市町村内のきめ細かな移動手段の充実・確保に向けた支援
【 地域公共交通計画策定率:100%(21/34市町村)
公共交通カバーエリア率:100%[交通空白地区0地区]
(-) 公共ライドシェア等市町村営交通の導入率:100%(-) 】
- 県境や市町村をまたいで運行される移動手段の確保に向けた支援
- 拡 県内外でのPRを通じた運転士の確保
- 3 鳥獣被害対策等の推進
- 拡 有害鳥獣の捕獲推進
【 鳥獣による年間被害額:90万円(100万円) 】
- 狩猟者の確保・育成

第3策 安全・安心の確保

- 地域医療体制の確保
- 拡 へき地医療の体制確保
【 へき地診療所等での医師の充足率:100%(100%) 】
- 拡 オンライン診療による医療提供体制の確保
【 無医地区・準無医地区内の住民に身近な場所におけるオンライン診療体制の整備率:15市町村(100%) (2市町村(13%))
オンライン診療の年間実施件数:4,000件(222件) 】
- 安心安全な周産期医療の提供体制づくり
- 2 高知型地域共生社会の推進
- あったかふれあいセンターの機能強化
- 住民参加型の子育て支援【再掲】
- 3 福祉・介護サービスの充実支援
- 高知版地域包括ケアシステムの深化・推進
- 拡 福祉・介護人材の確保対策と介護現場の生産性の向上
- 4 地域防災力の強化
- 自主防災活動の活性化
- 土砂災害が発生しても「犠牲者ゼロ」となる県土づくり
- 中山間地域の実情に応じた道路の整備
- 拡 中山間地域における事前復興まちづくり計画の策定支援
- 5 安全安心に暮らせる社会づくり
- 消費者問題に関する身近な地域での啓発の充実

柱3 活力を生む

第4策 集落の活性化

- 集落活動センターの推進
- 拡 集落活動センターの設立と活性化の推進
【 集落活動センターの設立:83か所(65か所) 】
- 2 農村の保全
- 農村型地域運営組織(農村RMO)による集落の活性化
- 3 多様な世代が交流する「場」の創出
- 県立大学による地域の活性化・人材育成の仕組みづくり
- 拡 関係人口と集落活動をつなげる仕組みづくり
【 交流プログラム参加者数:800人(0人) 】

第5策 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用

- 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用
- 学生や企業等との連携等による民俗芸能等の担い手確保
【 県の事業等を通じて伝統的な祭りや民俗芸能の活動に参加した人の数:R6-9累計300人(0人) 】
- 民俗芸能の収益力向上と観光ルートづくりへの支援
- 伝統的な祭りや民俗芸能の保存活動・用具整備等への支援
- 拡 「よさこい高知文化祭2026」の開催【再掲】
【 総参加者数:100万人(-) 】
- 伝統的な祭り・民俗芸能のデジタルアーカイブ化
- 2 世界無形文化遺産への登録を目指す取り組みの推進
- 国重要無形民俗文化財・ユネスコ世界無形文化遺産への登録を目指す取り組みの推進

柱4 しごとを生み出す

第6策 魅力ある仕事の創出 (地域の基幹産業の魅力向上)

- 農林水産業の振興
- 拡 農業のデジタル化による生産性の向上
- 拡 農林水産業における女性や若者をターゲットにした担い手の育成・確保【再掲】
【 新規就農者数:280名(150名)
若者女性新規就農者数44人(11人)
新規漁業就業者数:58名(52名)
若年女性新規漁業就業者数:4名(2名) 】
- 拡 スマート農業の推進による労働生産性や反収の向上
- スマート林業の推進
- 集落等における特用林産物の振興
- 拡 デジタル技術を活用した効率的な漁業生産体制への転換(高知マリンイノベーションの推進)
- 2 地域の資源を活用した付加価値の高い産業づくり
- 産業振興センターによる企業伴走支援
- アドバイザーの派遣や補助制度等による商品開発や生産性向上の促進
- 「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした観光商品づくり
- 拡 宿泊施設を中心とした長期滞在の促進
- 3 産業人材の育成・確保
- 土佐まるごとビジネスアカデミーによる産業人材の育成
- 特定地域づくり事業協同組合の設立の促進【再掲】

第7策 魅力ある仕事の創出 (起業等による新たな雇用の場の確保)

- 地域産業の振興
- 地域アクションプランの取り組みによる雇用創出
【 地域APIによる雇用創出数:R6-9累計400人(R2-5累計287人) 】
- 2 企業誘致の推進
- 企業誘致戦略に基づく企業誘致の推進
- 新たな工業団地の開発
- 3 起業や事業承継の促進
- 起業に関する学びの機会の創出や伴走支援による新たな生業、仕事の創出
- 拡 事業承継ネットワークによる円滑な事業承継の促進
【 県事業承継ネットワーク構成機関のサポートによる事業承継件数:R6-9累計200件(R元-4累計52件) 】
- 拡 地域商業機能の維持

横串 第8策 デジタル技術の活用

- 情報通信基盤の整備促進
- 光ファイバ等の整備
- 携帯電話の不感地の解消
- 2 デジタル技術を活用した中山間地域の課題解決
- オンライン診療による医療提供体制の確保【再掲】
- 伝統的な祭り・民俗芸能のデジタルアーカイブ化【再掲】
- 農業のデジタル化による生産性の向上【再掲】
- 3 デジタルデバイドの解消
- 高齢者等へのデジタルデバイス対策の推進

新 「所得向上推進企業総合支援事業費補助金」の活用により高付加価値化につながる事業者のチャレンジを支援